

広徳寺通信

Letter from Koutokuji Temple

70号

あたかも象が戦場で
弓より放つ矢に耐える如く
私は非難に耐えるであろう
多くの人は戒なきゆえに

(法句三三〇)

よく調教された象は、戦地に
あつて飛び交う弓矢に当たっ
ても、悩まされずによく耐え
忍ぶ。そのようにお釈迦様は、
「見ていないものを見ている
と言ったり、自分が言いたい
ことを言いたいように、好き
勝手なことを言つて相手を悩
ますような人の非難にはよく
耐えなさい」とおっしゃい
ます。象は、日本にとっては
動物園の檻の中で、日常的に

は馴染まない動物ですが、お釈迦様の
生きておられたインドでは、一般的
動物でした。象は、大きく堂々として
おり何事にも動じない、自己の体と心
がよくコントロールされている例えと
して、仏教ではよく出てきます。よく
調教されていれば、王様が大衆の中を
乗って歩くにふさわしい威厳あります
が、野生のままだと怒ると凶暴にな
ると言います。私たちが怒ると凶暴に
接し、慈しみ深くありたいと願います。

優れた人格の持ち主で、慈しみ深い
お釈迦様ですら、他人から「泥棒！」
ありました。お釈迦様への罵りを聞
いた弟子のアナンドは、「他の町へ
行きましょう」と言うと、お釈迦様
は「そこでも人々が罵つたらどこへ
行くのですか」と答え、「問題が起
こればそこで解決して他所へ行くべ
きです。非難に耐えることこそ私の
務めです」とおっしゃいました。

お寺の秋の行事に参加してみませんか

梅花流詠讃歌 毎週土曜日 午後1時半-3時半
ふるくから日本人が親しんできた御
詠歌。どこか懐かしい曲調を心をこ
めてお唱えします。初めての方には
法具をお貸しいたします。

婦人会 毎週火曜日 午前9時半-11時半
女性限定。毎週お寺に集まっておしゃ
べりしながら裁縫したり、料理を習っ
たりしています。

写経会 毎月第2日曜日 午後3時-4時
丁寧に文字を書く。ただそれだけなの
に不思議と心が落ち着きます。少人数
ですでお気軽にお越しください。

坐禅会 毎月第3日曜日 午後4時-5時
最近よく耳にする「めい想」とか「マ
インドフルネス」とかいうものの原点
です。静寂の中で、自分に向き合います。

ピラティス～ラ・テラピラティス～
体のコア(体幹)を鍛える運動です。最近、
運動不足気味な方、どうですか？

昼の会 am10:30-11:30 9/1 (金)
夜の会 pm6:30-7:30 9/15 (金)
参加費 1,000円 (回数券もあります)

※ 行事の詳細はホームページもご覧ください。

ラジオ番組「曹洞宗の時間」

曹洞宗僧侶の法話をラジオで聞くことができます！
毎週土曜日・朝6時15分から6時19分
HBCラジオで放送中

お盆のお寺参り

寺こや自然塾

おかげさまで今年で第8回目を迎えました。
7月8～9日(土日)一泊二日での小学生の坐禅修行！



▶ 8月18日(金)お盆のお寺参りが行われました。たくさんのお参りありがとうございました。



▶ 住職と一緒に般若心経を本堂でお唱えしました！



▶ キッズ・コアトレ(体操)に挑戦！うまくできたかな？



▶ お寺の本堂を雑巾掛けで一周だ！手をしっかりつけて！



▶ 終わって、皆さんから預かった水塔婆に乗せた灯籠をお経とともに海に流しました。灯籠は戸館政晴さんの力作！



▶ ご飯を食べるのも大切な修行。お唱えしてからいただきます。



▶ 小学一年生もきれいに布団敷き。みんなで協力しました。



▶ 坐禅は大切なお寺の修行です。動かないで座れたかな？



▶ 佐呂間町より眞如晃人師がお説教に来てくれました。臨床宗教師として、眞如師は病院といったお寺の外でも活躍なさっています。



▶ 本堂の仏具や仏像をメモ取りながら勉強です。ふむふむ。



▶ お寺の中で宝探しだ～。何が見つかったかな？



▶ 1日の終わりにはみんなで花火をしましたよ。

永代供養とは、「墓じまい」のことですか？



結論から言いますと、「永代供養≠墓じまい」ではありません。しかし、永代供養と聞くと、「お墓を解体すること」と思う方が多いようです。そうではなく、永代供養とは、お寺にお位牌を祀り、お寺で毎日あるいは毎月お経をあげて供養して行くことを言います。ですから、お檀家さんの中には、月参りしながら、お寺にお仏壇のものとは別に本堂に永代供養のお位牌を作り供養なさる方もいらっしゃいます。



ではなぜ、「永代供養≠墓じまい」という印象を持つてしまうかと言いますと、自分より後にご先祖様をお参りして行く後継者がいない方が場合、お墓やお仏壇を維持・管理して行くことが実質的に難しいので、お墓を解体してお仏壇を魂抜きし、今後お寺がご遺骨とお位牌を管理し永代にわたって供養して行くことが必要になります。

お墓やお仏壇を管理しており、また、後継者がいる方でも、永代供養なさる方もいらっしゃると思います。お寺から遠いので普段のお勤めができない方や、近い方でも、お世話になった大切な人がいつもお経の聞こえるところにお祀りしたい方が永代供養をなさいます。

現在、お参りしているお墓や納骨壇を今後管理して行く方がいらっしゃる方は、大きく二つのことを考える必要があります。一つは、今自分がしている供養を誰がするのか（永代供養）。もう一つは、ご遺骨をどこに移すのか。

「生きている間はお墓を壊したくない。」

後継者がいなく「墓じまい」を選ばざるをえない方でも、「自分の目が黒いうちは先祖のお墓を壊したくない」という方もおります。そういう方の為に建立したのが広徳寺の永代供養塔です。

これまで、広徳寺では後継者不在で跡がない方のご遺骨やお墓を無縁仏として扱わざるをえませんでした。しかし、広徳寺の永代供養は、生きている間、健康な間に自分の意思をお寺に伝え、伝えるだけではなく契約書を交わし、自分の意思に沿う形の永代供養を行うことができます。

ですから、永代供養と一口に言っても、その内容はお一人お一人によって大きく異なります。ご意思と状況に合わせた永代供養を広徳寺は実現します。共同墓地に入れて終わりというのはなんだか寂しい。お寺参りになれば多くの人が集い、お経の声がそこに響き、「寺こや」では子ども達がお寺に親しみ笑い声があふれる。死んでも私たちに、生きている人を見守る役割があります。お悩みの方はお寺までどうぞご相談くださいね。

広徳寺の永代供養は、生きている間に自分の意思をお寺に伝える「生前契約」が特徴です。



▶本堂安置の永代供養のお位牌です。朝のお勤めで読み込みます。



▶本堂裏地に建立された永代供養塔「ゆいの塔」



▶毎朝のお勤め、さらにお寺参りにてお勤めされる永代供養の様子。



▶永代供養塔に安置されているお仏像は、お釈迦様。「初転法輪像」

お寺の庭から

お墓参りの方をお迎えする立場の私は、お盆とお彼岸に母のお墓参りに行けません。今年はお盆前に東京に行く機会に恵まれました。すっかり北海道仕様になってしまった私には、東京の夏は暑く耐えがたいものでした。お墓までの道をずつと歩きましたが、墓地に着く頃にはシャワーを浴びたように大汗をかきました。途中、お花と水を買いましたが、お花の高さ（背ではありません）お値段です！）にはいつもビックリします。でも、お花が大好きだった母のために大いに奮発して、可愛らしいのと素敵なのと二束買いました。ちぐはぐな対の花になりましたが、住職にお経をあげてもらい、冷たいお水を母と一緒に飲んで良かった！とても満たされた気持ちになりました。さすがに気分になりました。お墓参りって、故人を偲ぶのだと思うけれど、上手く表現できませんが、自分の為にとっても良かったと感じた一日でした。皆様もこんなお気持ちでお墓参りされていらっしゃるんですね。



（広徳寺寺族 高橋佳子）



母とよく行った、日曜日の来がに、懐かしいお寺に参りました。お盆の日に、お墓参りに行きました。お盆の日に、お墓参りに行きました。お盆の日に、お墓参りに行きました。